INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/018630

		2003/010030
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER Int.Cl7 C12Q1/04		
According to International Patent Classification (IPC) or to be	both national classification and IPC	
B. FIELDS SEARCHED		
Minimum documentation searched (classification system foll Int.Cl ⁷ C12Q1/00-3/00	lowed by classification symbols)	
Documentation searched other than minimum documentation		
Electronic data base consulted during the international search CA (STN), MEDLINE (STN), BIOSIS (S	h (name of data base and, where practicable, search to STN), WPIDS (STN), JSTPLUS FILI	erms used) E (JOIS)
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
	n, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y JP 2000-224998 A (Dire Institute of Infections 15 August, 2000 (15.08. (Family: none)	ctor General of National s Diseases), .00),	1-3,6-12
Y JP 2000-316597 A (Eike 21 November, 2000 (21.1 (Family: none)	11.00),	4-18
Y JP 2003-135093 A (Eike 13 May, 2003 (13.05.03) (Family: none)	n Chemical Co., Ltd.),	13-18
X Further documents are listed in the continuation of Box	C. See patent family annex.	
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not co to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the intern-	the principle or theory underlying the in	ation but cited to understand evention
filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or we cited to establish the publication date of another citation or special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other document published prior to the international filing date but late priority date claimed	considered novel or cannot be considered novel or cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive ser means considered to involve an inventive ser means	ered to involve an inventive laimed invention cannot be step when the document is documents, such combination art
Date of the actual completion of the international search 19 January, 2005 (19.01.05)	Date of mailing of the international sear 08 February, 2005 (ch report (08.02.05)
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office	Authorized officer	
Facsimile No. Form PCT/ISA/210 (second sheet) (January 2004)	Telephone No.	-

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2004/018630

		PCT/JP2	2004/018630
C (Continuation)). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant	ant passages	Relevant to claim No.
Y	Nagy Elisabeth et al., Investigation of t presence of different broad-spectrum beta lactamases among clinical isolates of Enterobacteriaceae Acta Microbiologica et Immunologica Hungarica (1998), Vol.45, No pages 433 to 446		1-18
Y	pages 433 to 446 JP 2002-504122 A (Northwestern Universit 05 February, 2002 (05.02.02), & WO 98/56392 Al & EP 1009415 Al & US 6184363 Bl & US 6417174 Bl & US 6448238 Bl		6,7,15,16

B. 調査を行った分野 調査を行った及小服資料 (国際特許分類 (IPC)) Int. Cl' Cl201/00-3/00 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの C. 関連すると認められる文献 引用文献の カテゴリー*	A. 発明の Int. Cl' Cl	属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) 2Q1/04		
開査を行った最小展資料 (国際特許分類 (IPC)) Int. Cl' C1201/00-3/00 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語) CA(STN)、MEDLINE(STN)、BIOSIS(STN)、WPIDS(STN)、JSTPLUSファイル(JOIS) C. 関連すると認められる文献 引用文献の カテゴリー*	カ 部本大久	≤ - ⊁ 八冊	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
展小膜資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語) (A(STN)、MEDLINE(STN)、BIOSIS (STN)、WPIDS (STN)、JSTPLUS ファイル (JOIS) 引用文献の カテゴリー* 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 請求の範囲の番号 Y P 2000-224998 A (国立感染症研究所長) 2000.08.15 (ファミリーなし) 1-3,6-12 Y JP 2000-316597 A (栄研化学株式会社) 2000.11.21 (ファミリーなし) 4-18 Y JP 2003-135093 A (栄研化学株式会社) 2003.05.13 (ファミリーなし) 13-18 区 C欄の続きにも文献が列挙されている。	調査を行った	最小限資料(国際特許分類(IPC))		
国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語) CA(STN)、MEDLINE(STN)、BIOSIS(STN)、WPIDS(STN)、JSIPLUSファイル(JOIS) C. 関連すると認められる文献 引用文献のカテゴリー* 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 請求の範囲の番号 アメリーネ リア 2000-224998 A(国立感染症研究所長)2000.08.15(ファミリーなし) 1-3,6-12 Y JP 2000-316597 A(栄研化学株式会社)2000.11.21(ファミリーなし) 4-18 Y JP 2003-135093 A(栄研化学株式会社)2003.05.13(ファミリーなし) 13-18	Int. CI CI.	2 4 1/00 [—] 3/00		•
国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語) CA(STN)、MEDLINE(STN)、BIOSIS(STN)、WPIDS(STN)、JSIPLUSファイル(JOIS) C. 関連すると認められる文献 引用文献のカテゴリー* 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 請求の範囲の番号 アメリーネ リア 2000-224998 A(国立感染症研究所長)2000.08.15(ファミリーなし) 1-3,6-12 Y JP 2000-316597 A(栄研化学株式会社)2000.11.21(ファミリーなし) 4-18 Y JP 2003-135093 A(栄研化学株式会社)2003.05.13(ファミリーなし) 13-18	是小個簽料以	人の容料で調本を行った分野に今まれるもの		
C. 関連すると認められる文献 引用文献の カテゴリー*	我们被展1720	「シダイ」(物質では、)に分別でロウスをいってい	·	
C. 関連すると認められる文献 引用文献の カテゴリー*				
	国際調査で使用		調査に使用した用語)	
別用文献の カデゴリー*	CA(STN), MED	DLINE(STN), BIOSIS(STN), WPIDS(STN), JSTPLU	Sファイル(JOIS)	
別用文献の カデゴリー*	·	,		
サ		ると認められる文献		
Y JP 2000-316597 A (栄研化学株式会社) 2000. 11. 21 (ファミリーなし) 4-18 Y JP 2003-135093 A (栄研化学株式会社) 2003. 05. 13 (ファミリーなし) 13-18		引用文献名 及び一部の箇所が関連する。	ときは、その関連する箇所の表示	
Y	Y	JP 2000-224998 A(国立感染症研究所長	と) 2000.08.15 (ファミリーなし)	1-3, 6-12
Y				
 ✓ C欄の続きにも文献が列挙されている。 ★ 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表された文献であって、出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの「P」国際出願目前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願「を」同一パテントファミリー文献 国際調査を完了した日	Y	JP 2000-316597 A(栄研化学株式会社) 	2000.11.21 (ファミリーなし)	4-18
 ✓ C欄の続きにも文献が列挙されている。 ★ 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表された文献であって、出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの「P」国際出願目前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願「を」同一パテントファミリー文献 国際調査を完了した日	V	 TP 2003-135093 A (学研化学株式会社)	2003 05 13 (ファミリーかし)	13–10
* 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願目前の出願または特許であるが、国際出願目 以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献 (理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献「P」国際出願目前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「P」国際出願目前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「B」同一パテントファミリー文献 国際調査を完了した目 「9.01.2005 「P」国際調査機関の名称及びあて先日本国特許庁(ISA/JP) 「国際調査機関の名称及びあて先日本国特許庁(ISA/JP) 「国際研養者目100-8915		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2000. 00. 10 (7) < 9	13 16
* 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願目前の出願または特許であるが、国際出願目 以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献 (理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献「P」国際出願目前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「P」国際出願目前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「B」同一パテントファミリー文献 国際調査を完了した目 「9.01.2005 「P」国際調査機関の名称及びあて先日本国特許庁(ISA/JP) 「国際調査機関の名称及びあて先日本国特許庁(ISA/JP) 「国際研養者目100-8915				
* 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願目前の出願または特許であるが、国際出願目 以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献 (理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献「P」国際出願目前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「P」国際出願目前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「B」同一パテントファミリー文献 国際調査を完了した目 「9.01.2005 「P」国際調査機関の名称及びあて先日本国特許庁(ISA/JP) 「国際調査機関の名称及びあて先日本国特許庁(ISA/JP) 「国際研養者目100-8915				
「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの 以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献 (理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「V」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの「V」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの「&」同一パテントファミリー文献 国際調査を完了した日 国際調査報告の発送日 08.02.2005 国際調査機関の名称及びあて先日本国特許庁(ISA/JP) なの優番号100-8915	区 C欄の続き	とにも文献が列挙されている。	□ パテントファミリーに関する別	紙を参照。
もの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するものを知り、表述文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの「&」同一パテントファミリー文献国際調査報告の発送日の8.02.2005 国際調査機関の名称及びあて先日本国特許庁(ISA/JP)な原番号100-8915	2171474110			された文献であって
以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献 (理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「&」同一パテントファミリー文献 国際調査を完了した日 19.01.2005 国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915	もの		出願と矛盾するものではなく、	
日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する	以後にな	☆表されたもの	「X」特に関連のある文献であって、	
「O」ロ頭による開示、使用、展示等に言及する文献 よって進歩性がないと考えられるもの 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「&」同一パテントファミリー文献 国際調査を完了した日 19.01.2005 国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 佐久 敬 なり (権限のある職員) 佐久 敬	日若しく	は他の特別な理由を確立するために引用する	「Y」特に関連のある文献であって、	当該文献と他の1以
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「&」同一パテントファミリー文献 国際調査を完了した日 19.01.2005 国際調査報告の発送日 08.02.2005 場際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 佐久 敬 佐久 敬				
19.01.2005 U8.U2.2UU5 国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 佐久 敬				
日本国特許庁 (ISA/JP) 佐久 敬	国際調査を完了		国際調査報告の発送日 08.02.	2005
郵便番号100-8915				4B 3037
	1	『便番号100-8915	電話番号 03-3581-1101	内線 3448

<u>C(続き).</u> 引用文献の カテゴリー*	関連すると認められる文献 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	Nagy Elisabeth, et al., Investigation of the presence of different broad-spectrum beta-lactamases among clinical isolates of Enterobacteriaceae Acta Microbiologica et Immunologica Hungarica (1998), Vol. 45, No. 3-4, p. 433-446	請求の範囲の番号
Y	JP 2002-504122 A (ノースウエスタン ユニバーシティー)2002.02.05 & WO 98/56392 A1 & EP 1009415 A1 & US 6184363 B1 & US 6417174 B1 & US 6448238 B1	6, 7, 15, 16
·		
,		
		·

特許協力条約

PCT

国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 A45213H	今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220 及び下記5を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/018630	国際出願日 (日. 月. 年) 14. 12. 2004	優先日 (日. 月. 年) 15.12.2003
出願人(氏名又は名称) 財団法人ヒューマンサイエンス振興則	才団	
国際調査機関が作成したこの国際調査報 この写しは国際事務局にも送付される。		:) の規定に従い出願人に送付する。
この国際調査報告は、全部で 3	_ページである。	
この調査報告に引用された先行技	術文献の写しも添付されている。	
	まか、この国際出願がされたものに基づ された国際出願の翻訳文に基づき国際	
b. この国際出願は、ヌクレオラ	チド又はアミノ酸配列を含んでいる(第	I 欄参照)。
2. 請求の範囲の一部の調査がで	できない(第Ⅱ欄参照)。	
3. 発明の単一性が欠如している	5(第Ⅲ欄参照)。	
4. 発明の名称は ※ 出願/	人が提出したものを承認する。	
□ 次にえ	示すように国際調査機関が作成した。	
5. 要約は ※ 出願/	人が提出したものを承認する。	
国際調		47条 (PCT規則38.2(b)) の規定により 際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ る。
6. 図面に関して a. 要約書とともに公表される図は、 第 <u>1</u> 図とする。 出	願人が示したとおりである。	
区 出	願人は図を示さなかったので、国際調3	を機関が選択した。
■ 本図は発明の特徴を一層よく表しているので、国際調査機関が選択した。		
b 要約とともに公表される図はない。		

A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) Int. Cl' C12Q1/04				
調査を行った最	B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC)) Int. Cl' C12Q1/00-3/00			
最小限資料以外	トの資料で調査を行った分野に含まれるもの			
	用した電子データベース (データベースの名称、 LINE(STN), BIOSIS(STN), WPIDS(STN), JSTPLUS			
	ると認められる文献			
引用文献の カテゴリー*	 引用文献名 及び一部の箇所が関連すると	さは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号	
Y	JP 2000-224998 A (国立感染症研究所長) 2000.08.15 (ファミリーなし)	1-3, 6-12	
Y	JP 2000-316597 A (栄研化学株式会社)	2000. 11. 21(ファミリーなし)	4-18	
Y	JP 2003-135093 A (栄研化学株式会社)	2003. 05. 13(ファミリーなし)	13-18	
区欄の続き	きにも文献が列挙されている。		紙を参照。	
* 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献(理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「&」同一パテントファミリー文献				
国際調査を完了した日 19.01.2005 国際調査報告の発送日 08.02.2005				
日本国	の名称及びあて先 国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 郡千代田区段が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 佐久 敬 電話番号 03-3581-1101	4B 3037 内線 3448	

ン(続き) 用文献の	関連すると認められる文献	関連する
ウテゴリー*_ Y	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 Nagy Elisabeth, et al., Investigation of the presence of different broad-spectrum beta-lactamases among clinical isolates of Enterobacteriaceae Acta Microbiologica et Immunologica Hungarica (1998), Vol. 45, No. 3-4, p. 433-446	請求の範囲の番号
Y	JP 2002-504122 A (ノースウエスタン ユニバーシティー)2002.02.05 & WO 98/56392 A1 & EP 1009415 A1 & US 6184363 B1 & US 6417174 B1 & US 6448238 B1	6, 7, 15, 16